

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	株式会社Gree			グリーピースToys・Switch／II・Nursery		
○保護者評価実施期間	2025年 2月 3日			～ 2025年 2月 28日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	32名	(回答者数)	32名		
○従業者評価実施期間	2025年 2月 3日			～ 2025年 2月 28日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数)	9名		
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 28日					

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者様の様子の共有を様々なツールを用いて高い頻度で行うことが出来ている。	家族支援を行う際、口頭のみや、羅列された文章による共有だけにならないよう、保護者様がもらって嬉しくなるような様子のわかるお手紙を用いて高い頻度で様子の共有を行えています。	保護者様の方たちも多忙な方が多く、時間を作って頂くことが難しい場合もあるが、可能な限り情報共有の場を設け、家庭や学校の様子や悩み事、困り感を引き出せるような環境関係価値を築いていく。
2	スタッフ間の相談の場を設けていて、月単位の見直しを行いプログラムが固定化されないように工夫している。 また行事ことや誕生日など特別なイベントにも力を入れていて利用者の満足度につなげられるようにしている。	SSTの活動は継続して行うべきこと、変えるべきことを毎月検討を行っている。またSSTの活動計画を用いることで、前回の計画から内容をレベルアップしたり、更に必要な配慮を入れることで変化をつけられる。個人プログラムも月単位の見直しが行われており、指導員・心理士・児発管がそれぞれ意見を出しながら連携して行っている。	集団SSTや個人プログラムは充実しているが、時間の限りもあるためそれらで得たことを発揮できる余暇時間が少なく感じる。余暇の時間の過ごし方も非常に大切なため、時間の確保と配慮の仕方を検討し、実施していく。
3	チャレンジカードという事業所独自の利用者個々の課題に沿った支援、提供方法をとっている。毎月の見直しを行っており、常に子どもの変化に合わせて更新することができている。	ソーシャルスキルを学校生活と捉え、それらにフォーカスした支援や関りを意識している。褒められた経験が乏しい子や自信が持てない子たちがいる中で、様々な取り組み(例:あいさつ、5w1h、紐結び、服たみ等)を通して、「出来ることが増えた。前よりも少し上達した」という経験から自信をつけ、自己肯定感を上げて、ゆくゆくは学校生活に活かされていけるようにと考えている。	今後も既存の集団活動や個別支援の充実を図るだけでなく、ロールプレイや地域交流、共同制作など幅を広げる取り組みも行っていきたいと思っている。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後という時間の制約がある中で、事業所で取り組むプログラムが複数あるため、もう少しゆとりを持って過ごせるように改善していく。	活動や個人のプログラムで経験することはあくまで練習であり、経験したことが発揮できる場合は余暇や自由時間であることが大切であると認識を改めていく。	自由時間を積極的に設けていく。その中でただ見守りの対応とならないように個々の課題や目標をスタッフそれぞれが認識できる環境を整え、主体は子ども達の中でも必要な配慮や声掛けが行えるようにしていく。
2	まだ新しい事業所であるため、学校卒業後の進路や中学・高校、または社会人になるうえで必要となる経験やスキルがどのようなものになるのかを知る環境が少ない。		少しずつ小学校を卒業していく層が増えてきている。中・高校へ進学し、利用がなくなったとしても相談できる場であることを目標とし、相談支援専門員の方や学校の先生方と積極的な情報共有を行うことにより、将来の視点を持って支援を提供できるように精進していく。
3	家族に対する支援プログラム(ペアレントトレーニング)や家族参加型の研修会、情報提供の機会が持てていない。地域の他の子どもたちと交流する機会がない。	ペアレントトレーニングや家族研修会、地域交流を図りたいと思っはいるが、なかなか準備を進めることが出来ていない状態であった。	各利用者のご家族にもっと支援に対して興味を持ってもらいたい、知りたいと思ってもらえるような情報の発信を行ってきたい。現在、SNSやブログ等のツールを通して発信しているが、デジタルに疎い方々もいらっしゃると思うので、お便りなど紙面での発信方法も合わせて検討していきたい。また、情報提供の場や地域交流を行っていく上での地盤作り(場所、期間、時間、計画等)を進めていく。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		株式会社Gree グリーピースToys・Switch/Ⅱ・Nursery		公表日 令和7年3月14日		
		チェック項目		工夫している点		課題や改善すべき点
		はい	いいえ			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9		屋内外十分なスペースの確保ができています。 宿題、支援と部屋を分けて行うことができています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9		人員基準数（管理者1名（兼務可）、児童発達支援管理責任者1名（兼務可）、児童指導員2名、その他の従業者1名）に対して、児童指導員、保育士半数以上、強度行動障害基礎研修修了者は全スタッフの4/5は確保できている。全日必ず5名以上のスタッフで支援にあたっている。管理者児発管は兼任で常勤である為、配置数は適切である。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9		ホワイトボードに必要事項を記載し、利用者様が自分で確認できる環境になっている。学校から帰ってきてから行うことを等を掲示して分かりやすくしている。階段、子どもが開閉可能な状態のドアに配慮したい。様々な視点から意図して構造化できている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9		担当制で毎日プレイルームの掃除、週に1回スタッフ全体で掃除。 室内遊びの部屋にマットを敷いている。車内、室内アルコール消毒を毎日行っている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	1	必要な場合にプレイルーム以外の場所でも過ごすことを認めている。 クールダウン時や個別で話を聞いてほしいとき等に活用している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8	1	自己評価を用いて適切に行えている。短期、中期、長期と各段階の目標を定めることで目標達成までの道筋が立てやすい。振り返りも行っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	1	ミーティングでの共有、改善が話し合うことができています。評価表の配布、回収の後全ての意見に回答、改善事項は周知して改善に努めている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		朝にミーティングを行い、利用者様の支援についての話し合いをしている。毎朝のミーティングで利用者様の様子や支援内容環境を含めた意見内容が行われている。月1の自己評価表の記入に対して返事をもらえることで業務改善に繋がっていると感じる。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	4	法人内で他事業所から評価をしてもらう機会を設けている。	法人内で他事業所から評価をしてもらう機会をさらに設けていく。第三者による外部評価も検討していく。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9		法定研修以外の研修も定期的に法人内で行っている。浜松市障がい児放課後支援連絡協議会の開催する研修会の参加を積極的に行っている。新年度より新たな研修システムを導入予定。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9		支援プログラムはHPにて公表されている。個別のプログラムは定期的に担当スタッフ、児発管、心理スタッフと見直しを行い、家族支援を定期的に行いながら共有している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9		保護者様のニーズをアセスメントしたうえでこちらの様子とここちらで行えることを提案しながら支援計画書を作成している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9		担当スタッフ、専門スタッフと意見交流をしたうえで検討している。担当に分かれて利用者様に合った支援方法を考えている。支援に関わるスタッフと責任者との距離が近く意見交換がしやすい環境作りがされている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9		個別支援会議を行い、計画書の段階でスタッフに周知している。会議内で必要に応じて訂正及び支援方針の周知が行われている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9		利用者様個々に応じて最適なアセスメント・行動観察をしていく必要があることからインフォーマルなアセスメントツールを用いて確認している。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9		支援計画書に記載の支援内容について計画書を確認して支援の提供方法が理解できるように抽象的な表現は極力避け、具体的な方針・内容が記載されるように配慮がなされている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	1	集団SSTではねらいや配慮を共有しより良い活動にできるよう動いている。主SSTのスタッフと補助スタッフで意見交換をしたうえで活動に挑んでいる。担当スタッフが主に立案し、一緒に行うスタッフに共有し提案があればする。担当、児発管、心理士の意見を組み込みこみ、1人の考えだけにならないようにしている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9		活動1つとっても全く同じ内容は少なく、その日の利用者様の様子や予想される特性から様々な内容の工夫や配慮が意識されている。個人プログラムについても取り組み姿勢や様子を見て随時内容の確認・変更ができています。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9		集団と個別それぞれ独立したプログラムがあり、利用者様の状況に応じてそれぞれの提供方法を柔軟に変化できる。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9		一週間単位でその日の配置や役割を周知している。当日にも再度、流れや支援の内容の確認を行い連携して支援提供できるように配慮している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	1	支援終了後には時間の都合上振り返りを行えない日があるが、必ず当日の利用者様の様子や支援の気づきを付箋に残し、翌日のミーティングにて共有を行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9		気づき等があればすぐに付箋に記録している。様子を付箋へ記録し半月ずつ様子をまとめて家庭支援として共有している。付箋を担当スタッフへ共有し、ミーティング時にも全体へ共有している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9		ご家庭と情報共有する場や方法は確立されている。些細な事でも相談や質問がある場合はお気軽にお問い合わせください。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	8	1		地域交流や資源をさらに見つけていきたい。多様な遊びや体験活動、特に体験活動と地域交流の部分は課題だと感じるため今後提供方法を検討していく。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9		支援プログラムが細分化されていることから利用者様が自己決定する場面は多い。「楽しい」を通じて利用者様自ら意欲的に取り組める支援プログラムを提供できるように配慮しております。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9		基本的には児発管が参加しているが、必用に応じて担当スタッフや心理スタッフも同席している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	1	教育機関へは必要に応じて保育所等訪問を活用し、情報共有が行える体制を整えることが出来ている。その他福祉・医療等は相談支援事業所を中心として連携できている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8	1	学校と直接のやりとりは控えさせていただき、連絡調整や行事・時間などの情報共有は保護者様をお願いしております。ただ利用者様の気になる様子や共有したい事項があるときや保護者様よりご依頼があった場合には適宜学校との情報共有を行っております。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8	1	同法人内で利用となる場合は適切に情報共有が出来ている。基本的には相談支援事業所からの情報共有になるが、必要であれば就学前の利用の保育園や幼稚園へ情報共有を行う。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	3	別の障害サービスの意向の実例はまだございません。卒業後に別の放課後等デイサービスを利用する場合には情報共有を行っている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	3		児童発達支援センターとの連携を図る場面は現在ございませんが、必用である場合には適切に対応してまいります。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	7		現在までにそういった交流はありません。保護者様と利用者様のニーズに応じて必要であれば提供方法を検討してまいります。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	4		法人内代表管理者が積極的に参加している。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9		家族支援や日々の送迎時に様子を伝え合うことで最新の情報共有ができています。家族支援にて日頃の様子や支援方法を共有している。内容や状況に応じて児発管、指導員、心理士が様子や状況を伝え共通理解をはかっている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	3		適宜対応方法や支援方法の提案はさせて頂いております。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9		利用開始前に説明を行っています。不明点がございましたら適宜回答いたします。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9		保護者面談を行ったうえで支援計画書の更新をしております。利用者様の意向が置き去りにならないように配慮し、ご家族との面談の中で総合的に判断できるように努めております。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9		支援内容の共有を行い同意を得ております。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9		相談事がある場合やこちらで情報共有を図りたい場合においては定期的な面談以外でもお話を場を設け対応致します。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	1	8		保護者会は現在行えていない。交流の機会を作ることができそうな取り組みを検討中。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9		対応の体制は整備されております。不明点等ある場合にはお気軽にお問い合わせください。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	9		家族支援を行う際、見て様子がわかるツールを用いて行っております。ホームページにて週に1回以上ブログを更新しておりますインスタグラムでも情報発信しておりますのでぜひご覧ください。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9		個人情報の管理においては徹底して行うように注意を払っております。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9		様子や特性に応じて適切に配慮できるようにスタッフで共有している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		8		現在そのような取り組みは行っておりません。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9		各マニュアルを策定後、職員回覧と掲示を行っている。内容の漏れがないように委員会等を活用し全職員に周知を行っていく。保護者様については契約時での説明やブログ・玄関掲示物での発信等を行っている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9		BCPの策定がされており必要な訓練以上の回数に取り組んでいる。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	9		服薬についての決まりを発信するとともに与薬依頼書等で管理している。利用者1人1人の特記事項の記入がされたファイルを作成し、全スタッフが把握できるようにしている。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	1	新しく入ってくる利用者様のアレルギーをその都度確認し、表を作成しスタッフ全員に周知できるようにする。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	1	防災委員の配置。定期的に避難訓練を実施している。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9		ヒヤリハットに気付けるように視野を広く支援する。ヒヤリが起きた際経緯を記入し、今後の対策を全職員が考えて記入、共有している。ちょっとしたことと感じる事でも積極的に取り上げ事故防止の話し合い等をしている。スタッフがヒヤリハットを出すことが負担にならないよう、出しやすい形式に改善された。週1で1週間分のヒヤリハットを発表、対応策を考えることで再発防止に取り組んでいる。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9		虐待委員会の設置及び意見共有と周知がなされ、研修にも参加している。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9		身体拘束が必要になる可能性がある場合は、計画に組み込んでいく。身体拘束の必要条件については虐待研修を中心に職員への研修を実施。実際に必要と思われる場合は具体的な記録をもとに保護者への説明を行い支援計画として同意を得たうえで一時的に実施を行っている。		

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 株式会社Gree グリーピースToys・Switch/II・Nursery

公表日 令和7年3月14日

利用児童数 34

回収数 32

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	29	1		2		去来空間のスペースは確保されています。必要に応じて敷地内園庭を使用し、のびのびと生活ができるように留意し、個々の様子に合わせた支援提供を行っています。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	28			4	何名のスタッフが配置されているか、しっかり解らない。	人員基本数(保育者1名(兼保育)、児童発達支援管理責任者1名(兼保育)、児童支援員2名、その他の従事者1名)に対して、児童指導員、保育士半数以上、年度行動発達基礎研修修了者は全スタッフの4/5確保できている。全日必ず5名以上のスタッフが支援にあたっています。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	27	3		2	広い空間で子どもたちにとって遊びやすい広さだと見学時に感じました。	基本的な事業所内のバリアフリーは中条1Fで行っている為バリアフリーが必要なご利用様はすべて2Fで受け入れています。随時内覧は可能ですので是非事業所をご覧になってください。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	31			1		現在、利用されている利用者様が安全に心地よく生活できる配慮はされています。園誌等で見学も可能です。
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	31			1		発達管、心理士、現場スタッフを含めた話し合いが定期的になされています。また、家庭での様子や保護者の要望等を踏まえて新たに支援の変更や配慮が生じた場合は、速やかに全体周知を行い一貫した支援に努めています。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	30			2		1日の流れや理念、各施設の特長等を含め、公表された内容に沿った支援を日々取り組んでいます。
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	30			2		事業所内での様子と保護者との面談にて、ご家庭・学校での様子をアセスメントし、それらをもとに放課後等デイサービス計画を作成しております。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	30			2		それぞれの思いを踏まえて個々の課題に合わせた支援を組んでいます。チャレンジカードという物を使用し、各担当者が取り組む内容を決めて促しています。また、子どもたちが自発的に取り組むよう、事業所内では使えない遊具を用いることでモチベーションの向上に繋がっています。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	31			1		計画に沿った支援を個々に合わせて取り組んでいます。また、それらの取り組みの様子を記録し、家庭との連携を図りながらより良い支援に繋がっています。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	26	1		5		チャレンジカードというものが導入されており、個々の特性や課題に沿った内容が組み込まれています。月に1度、担当が内容を検討し更新しております。また、チャレンジカードとは別にSSTの活動やグループ活動にも注力しています。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	13	4	2	13		現時点での交流機会は中々持てませんが、これから地域に届いていく上で、交流の機会を設けていきたいと思っています。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	31			1		負担額については契約時の料金表、重要事項説明書に明記しています。支援の内容は個別支援計画書のコピーをお渡しすると共に児童費から面談等でお伝えしています。半年に一度の面談のみでなく、随時面談は承っております。電話やLINEでも対応可能ですのでお気軽にご連絡ください。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	30	1		1		面談や相談時にもご相談に対応できるよう支援計画内容を職員間で共有し一貫した説明が行えるようにする。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	14	5	2	11		面談、家族支援等で情報提供の機会は設けられているが、家族参加型の研修等は行っていない為、今後そのような機会も設けていきたいと考えています。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	30	1		1	送迎時にいつも子どもの様子を細かく教えてくれる。	家族支援や送迎での子どもの様子の報告等を中心に情報共有をさせて取っています。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	29	2		1		半年に一度の面談のみでなく、随時面談は承っております。電話やLINEでの対応も可能ですのでお気軽にご連絡ください。育児相談等もなんなりとお申し付けください。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	31			1		自分の気持ちを手書き表現したり言語化することが苦手な子もいる為、日々利用者様の気持ちに寄り添い、思いを取り除く意識を高めて取り組むことに努めています。
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	6	7	7	12		保護者同士の交流、兄弟同士の交流の機会は、今のところ設けられていません。各家庭それぞれ異なる悩みもあれば、似たような悩みを持った方々もいらっしゃると思います。そのような情報交換やコミュニティの輪を広げられる場も作りたいと考えています。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	25	2		4	苦情があった場合、直ちに会議を開催し一週日中にすべてのご利用者様に書面又はLINEにてお知らせいたします。但し個人情報もある為すべてを明示できるわけではありません。速やかに職員間で共有し法人代表、取締役が対応、必要に応じて周知させて頂いています。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	29	1		1	家族支援や送迎時に利用者様の様子等の報告、情報交換を行っています。また必要な時には、面談の場を設けて保護者の方々が安心して話ができるような環境づくりにも努めています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	28			3	週に1度利用者様の様子をブログに掲載していますので是非ご覧ください。ブログについての不備点は職員へお申し出下さい。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	28	2		1	施設付きの書庫にて個人情報保管しています。HPはご利用者様専用パスワードにて管理しています。メディア取材については出発依頼をしたご利用者様に同意のもと取材先の個人情報同意書にサインを頂きます。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	27	2		2	説明を受けたか忘れてしまった。 契約時に「ご利用者に対する対応」を保護者様にお渡しし内容を説明させて頂いています。HPにも記載しております。感染対策マニュアルはHPに掲載、防犯カメラを設置しており事業所間での相互防犯管理を徹底しています。有事の際には録画記録より閲覧対応可能です。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	27	1		3	年間6回の訓練を実施し、ブログにて様子を掲載しています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	26			5	安全を確保するための計画？がよく分からない。 防災・避難訓練を実施しており、その様子をブログにて公開しています。また、各事業所に防災安全委員を設置し、定期的に室内外の安全チェックや意見交換等を行い、事故防止にも努めています。有事の際には録画記録より閲覧対応可能です。また、安全計画も策定の上HPにも掲載しております。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	26	2		3	有事の際、各スタッフに担当が割り振られている為、速やかに持ち場について行動に移れるよう、定期的な訓練や確認を行っています。BOPを策定しており、有事の際は迅速に対応できるようにしております。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	29	1		1	利用者様が安心して通所できるよう、信頼関係の構築を第一に考え、スタッフそれぞれが子どもたちにとっての安全基地となれるよう、日々務めています。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	29	2			通所を楽しみにしていただけるように支援内容を工夫し、全スタッフが日々の支援に臨んでおります。保護者様や利用者様の笑顔や喜びのお言葉が支援員の励みとなり、やりがいにつながっています。今後も「安心、笑顔、成長」を大切にした支援に努めて参ります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	31				今後ご利用者様に満足して頂けるよう、全スタッフが日々のスキルアップの向上に努めるとともに、子ども視点での関わりや支援提供を推進するよう職員一人一人が心掛けています。